

寺ネット・サンガ通信



2009年
創刊号

『寺ネット・サンガ』それは...

僧侶らが結成した超宗派の新・寺院ネットワーク

2009年5月発行 創刊号 会員の皆様へ
不定期発行 2009年5月創刊

第一回セミナーを終えて

第一回寺ネット・サンガ主催セミナーは、四月六日(月)築地本願寺で行われ、平日にもかかわらず八十人以上の参加がありました。スタッフを合わせると百名以上で会場の椅子がほぼ満席となりました。感謝です。

『お布施で困ったことありませんか?その1』というテーマで、日本葬祭アカデミー代表の二村先生が基調講演を行いました。その後、パネルディスカッションとして二村先生と四名の僧侶が前に並び、参加者と対峙しながら、疑問や不安に添えていくという双方向のセミナーとなります。

「お布施の意味として『あの世に旅立つ方への【お餞別】』という考えはいかがでしょうか?」とパネラーの名取住職のご意見などで、お坊さんへの親近感が増すと同時に「葬送に関する不安に添えてくれるのだ」という安心感が会場に広がっていきましました。一般の参加者以外にお坊さんや葬送に携わる方、そして報道の方も参加されてお坊さんの本音、寺ネット・サンガへの想いを参加者の皆さんと研鑽できた三時間だったと思われまします。お坊さんが参加者の皆さんに真剣に向き合うというサンガらしい今回の試みは、お陰様で貴重な一歩を踏み出すことができました。合掌

アンケートのご意見概略

非常に革新的でわかりやすく、面白かったです。

もう少し時間が欲しかった。

魂を育てる。その言葉に感銘を受けました。

セミナーをもっと広く告知してみたいかがか?

今日の講義を聴いても、何の解決にもならない。

お坊さんはお布施の意味を「聞かれない」というけど、こちらはただ「聞けない」のだ。

寺ネット・サンガ通信創刊に当たって

代表 中下大樹

九月十七日にサンガを設立して、八ヶ月が経ちます。相談件数は約四千件、面談も約百五十名を越えました。

お問い合わせの多くがお寺との付き合いやお墓についてなのですが、実際に葬儀を行うに至ることもありません。

一般のご相談以外でも、宗派、宗教を超えて共感していただき、お手伝いしてくださる方が増えてきています。

定例会やセミナーなど皆さんと共感できる場が増えてきましたので、

今月より会報を創刊したいと思っております。

よろしくお願い致します。



お知らせ!

六月のセミナーについて

次回のセミナーはテーマを『お布施で困ったことありませんか? (その2)』として、六月十三日(土)十五時開会でお茶の水、明治大学駿河台キャンパス、リパティータワー1階1011教室にて行います。
友人知人をお連れして、参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。(参加費は千円です)
前回同様、スタッフとしてボランティアいただける方、募集しております。また、チラシの配布や集客にご協力いただけると助かります。

編集後記

この度、縁あって編集後記を書かせていただくことになりました。エンディングプランナーの青木和広と申します。

寺ネット・サンガの理念や活動に共感して、「何をお手伝いできるだろう」と考えあぐねていたところニュースレターの作成に携わることができました。

事務局や世話人会の皆さんのお話を聞くと、まだまだ私のような手伝いが必要とのこと。セミナー準備のスタッフや、情報収集、広報活動、イベント企画・運営などや、その他超宗派、異業種協同の寺ネット・サンガだからこそできることへの皆様の積極的な提案や参加を必要としているのです。色んな分野で見識が高く、プロな皆様のご協力、お待ちしています。

皆様の反応や連絡のキッカケとしてこのニュースレターが橋渡しになれば幸いです。

お問合せ・ご相談・ご感想は
【寺ネット・サンガ事務局】

〒169-0021 東京都新宿区歌舞伎町
2-42-3 林ビル2階
Tel:03-3227-5633 Fax:03-5272-2401
<http://teranet.web.fc2.com/>
葬儀、法要、お墓、看取り、仏教に関することなどお気軽にご相談下さい。
講座をご希望の方ご連絡下さい。

寺ネット・サンガ通信

『寺ネット・サンガ』それは...
僧侶らが結成した超宗派の新・寺院ネットワーク

2009年
2号

2009年8月発行第2号 会員の皆様へ
不定期発行 2009年5月創刊



第二回セミナーも無事成功

六月十三日(土) 十五時より明治大学駿河台キャンパスにて、明治大学死生学研究所と共催で「お布施で困ったことありませんか(その2)」と題したセミナーを行いました。

まず、日本葬祭アカデミー代表の二村氏から問題提起があり、葬儀業界から小林氏、石材業界から鎌田氏が現場の現状や展望を熱く語りました。「商品としての葬儀を消費者も勉強しなければならぬのでは?」(志聖会代表 平久江氏)

「お布施とは行為であり、モノではない。お布施するご遺族が徳を積むため・納得するための金額なのだから容易に定量的な金額がつかないのだ」(浄信寺・吉田健一氏)

など核心を突く内容に八十名以上の観客の皆さんは真剣に話を聞いていました。



後半になり、サンガ正規会員の僧侶(名取氏、吉田尚英氏、松本氏、前田氏)四名による『各お寺におけるお坊さんの取り組み』が、スライド写真をうまく使ったプレゼンで好評を博していました。

お坊さんがスライドでさりげなく示すお布施の使い道。関係業者さんが熱く語る現場の現状。これらの活動や生の声を発信することで『お布施への納得につながってほしい』という思いは会場に伝わっていったと思われまふ。合掌無事に終えることができ皆様に感謝です。

来年度(9月以降)の新体制について

代表 中下大樹

サンガも早いもので、9月から二年目に入ります。来年度からは、世話人というものをやめ、サンガ会員各自が立候補という形で①セミナー・講演会部門

②広報・宣伝部門(HPや会報等も含む)

③葬儀部門

④会計部門

の四つのいずれかに参加し、それぞれチームを編成し、話し合い、結果を毎月の全体会で発表するという形を取りたいと思います。

会員皆様には、それぞれ興味あるチームにご加入いただき、積極的に各プロジェクトを進めていただけたらと思っております。

来年度も変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い致します。合掌



お知らせ!

あなたのアイデア募集中!

新体制の部門化において、「セミナーでこんなことをしたらどうだろうか」、「こんなイベントはどうだろうか?」などご意見を募集しています。

同時に、広報・宣伝、葬儀や会計などであなたのアイデアを聴かせていただけると幸いです。

(なお、このサンガ通信に文章を書きたい人も募集しています。)

9月以降も定例会を開催する予定です。こちらにも引き続きご参加、よろしくお願ひ申上げます。

お問合せ・ご相談・ご感想は【寺ネット・サンガ事務局】

〒169-0021 東京都新宿区歌舞伎町
2-42-3 林ビル2階
Tel:03-3227-5633 Fax:03-5272-2401

<http://teranet.web.fc2.com/>
葬儀、法要、お墓、看取り、仏教に関することなどお気軽にご相談下さい。講座をご希望の方ご連絡下さい。

編集後記

蒸し暑い日が続きます。蒸し暑いと不快指数が上昇して、怒りやすくなるのでしよう。

ある喪主の方は、お通夜の当日、会場のあまりの蒸し暑さと蚊の多さに、

「なぜ、お布施がそんなに高いんだ!いつ渡せばいいんだ?」と八つ当たりにイライラし、「坊主憎けりや、袈裟まで憎い」と、ご家族に怒りをぶつけていたのです。

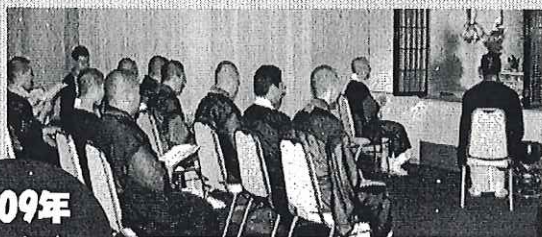
しかし、どうでしょう?

翌日の告別式になったら、おだやかな顔でお坊さんをもてなしています。昨日の話がそうさせたのか?ご家族が

「昨日は、坊主憎けりやって怒っていたのになぜ今は憎くなくなっているの?」と聞いた所、「だって言うじゃないか、坊主憎けりや、今朝まで...って」

どうもおおとがよろしいようで

寺ネット・サンガ通信



『寺ネット・サンガ』それは…

僧侶・葬儀社と対等な関係で一般の方が意見が言え、話し合える会である

2009年
3号

2009年11月発行第3号 会員の皆様へ
不定期発行 2009年5月創刊

サンガ・ウエディング大成功

十一月一日(日)の大安。七月から準備をしてきた、超宗派によるサンガ・ウエディングがおごそかに行われました。新郎新婦がお遍路で知り合ったということもあり、真言宗、名取ご住職の『もつとい不動 密蔵院』(江戸川区)で五十名の参列者が詰め掛けました。

「サンガってお葬儀の話ばかりなの？」

「一般の人とお寺と繋ぐんなら、明るいハッピーなことかもしれないね」と、前からサンガ内で声があり、サンガしかできない超宗派の仏式結婚式をやるうと盛り上がりつつあった経緯があります。そして、実際にイベントを実現してしまうパワーにサンガらしさが垣間見られたように思われます。

サンガらしさとは、一人の僧侶だけ、一つの宗派やお寺だけではないパワーであり、また、伝統や格式のあるセレモニーを、卒なく段取りよく魅せるプロ集団としての頼もしさもサンガらしさを実感させる要素になりえます。



エディングが行われることでしょう。

サンガの行う仏式セレモニー。結婚式も好評のもと終えることができ、大成功の大安吉日でした。

サンガ正会員の僧侶

の方には、仏式結婚式の経験者が多いのですが、経験のない方が経験を積み、また参加者が仏教に触れられるイベントとして、今後、サンガの活動に共感し、一緒に活動して下さっている会員さんが結婚される時には、またサンガ・ウエディングが行われることでしょう。

第一回サンガ総会終了

十月二十八日(水)に設立総会后、初めてになる総会が開かれました。

- ①二十年度活動報告
- ②二十年度会計報告
- ③二十一年度活動方針
- ④二十一年度予算案

を主な議題として、一年間でできたこと、できなかったことを振り返りながら、二年目からのスタートについて話し合いました。

会計等の事務機能をアップさせ、組織力を高めると共に、会員の皆さんのご意見やアイデアで活動が運営されていくボトムアップな組織を皆さんと作っていきますので、引き続きご協力お願い致します。

お知らせ!

会員継続と会費について

総会を終え、記念誌を発行するに伴いまして、今までの会員の方には継続のご意思を確認させていただきたく、入会(継続)用紙をお配りしています。

正会員・賛助会員など説明を付した用紙ですので、2年目の会員継続と会費のご入金をご検討いただき、お手続きを今年中にお願ひ申し上げます。

もし、ご住所が変わられる方や、団体名が変わられるなどがございましたら、あわせてご連絡下さい。

編集後記

サンガ・ウエディングを終えた私たち夫婦のリビングには、式で記念品としていただいたお釈迦様の木彫りの像が飾られています。蓮の台座に座られたお釈迦様を見るたびに結婚式を思い出すのです。

一番の思い出は、式の終り近くに行われた『法楽』で、各宗派が読経をリレーするかのようになり、蓮の花びらをかたどった色紙を撒く「散華」も行われ、やがて超宗派のお坊さん達が退堂していくのです。

今が平成の世だということをお忘れさせる伝統美がそこにはあり、仏式の良さが輝いていたのです。そのように考えると同じように伝統美のある葬儀というセレモニーへの視点が変わってきたようにも感じています。(青木)

お問合せ・ご相談・ご感想は
【寺ネット・サンガ事務局】

〒169-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-42-3 新宿救護センター内
Fax:03-5272-2401

<http://teranetsamgha.com/>
ほぼ毎月の定例会へのご参加もお待ちしております。
(どなたでも参加できます)

寺ネット・サンガ通信

【寺ネット・サンガ】それは…

僧侶・葬儀社と対等な関係で一般の方が意見が言え、話し合える会である

2010年
4号

2010年4月発行第4号 会員の皆様へ不定期発行 2009年5月創刊



今年もセミナー主催、盛況でした。

4月3日(土)に、永寿院にて「永代供養墓って何？」というテーマのセミナーを行いました。セミナーは15時半からだったのですが、13時から法要を、14時からは池上本門寺境内の永代供養墓巡りを行ってと、盛りだくさんのイベントでした。



セミナーのゲスト講師は、第一生命経済研究所の小谷みどりさん。「お寺で永代供養墓を申し込まれる際には、ご住職とお話し下さい。お坊さんの心意気を知ってから購入されることをお勧めします。」と締めくくったことから、後半のパネルディスカッションでは、吉田尚英住職、

吉田健一住職、名取芳彦住職の3名による「心意気」がこもった講演で盛り上がりました。

僧侶が考える『永代』『供養』そして『墓』という意味や、コミュニケーションとしての墓、お坊さんなどのような想いで供養しているか…など、「このお坊さんに任せたい」「想いを受け止めてくれるお寺があるんだ」と思ってもらえるような「心意気」が伝わったからこそ、左記のアンケートのような声があつたのだと思われれます。次回がまた楽しみです。

アンケート結果概要

以下、仮です。

- ・もっと聞きたかった
- ・供養の意味がわかった
- ・自分の問題だと自覚した

活動プランコンテスト中間報告

三月十五日に今年の活動方針となる活動プランコンテストの予選が行われました。左記は十三から絞られた六つのプランです。

- ① サンガ模擬葬儀&仏事相談会
 - ② 法話のCD販売
 - ③ サンガの寺めぐり
 - ④ 僧侶と旅する《寺》巡り、寺ピストツアー
 - ⑤ インタビューになって現場を知ろう
 - ⑥ お寺の共通メディアを持つ
- ⑥ どれか興味が湧きましたでしょうか？
決勝コンテストはいつもの新宿駅込み寺にて、五月〇〇日(〇)を予定しています。皆さまお誘いあわせの上、ご参加よろしくお申し込み申し上げます。

お知らせ!

メーリングリスト(ML)と 掲示板について

4月より、「ご入金と会員(継続)手続きをいただいた方から以前のMLからヤフーのMLに移行していきます。今後、MLで話し合われて議論が必要なもの(残していきたいもの)は掲示板で…など、より交流を深められる仕組みになりました。もし、まだ、MLがヤフーから届いていない方や、メールアドレスが変わられる方がいらっしゃいましたらご連絡ください。※要会費&会員申し込み手続きとなります。

編集後記

私は前職で四年半アメリカに駐在していた時期がありまして、他の州の都市に出張する時はモーターやビジネスホテルを利用していました。

予約の電話をする時、先方は「ウェスターン イン」とか、「ホリデー イン(ホテル)」などと対応するので、インという単語が泊るところだと自然とわかったものです。

先日、吉田尚英さんのお寺に電話した時に、「エーシュー イン」と対応がありました。…あわてて英語を話そうとしてしまいました。「永寿院」なんですよ。(笑)しかし、良く考えたらホテルのようなホスピタリティで、安心が得られる場所。寺という部分では永寿インさんは居心地が良かったなとセミナー時に感じたものです。(青木)

お問合せ・ご相談・ご感想は
【寺ネット・サンガ事務局】
〒169-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-42-3 新宿救護センター内
Fax:03-5272-2401
<http://teranetsamgha.com/>
ほぼ毎月の定例会へのご参加もお待ちしております。
(どなたでも参加できます)